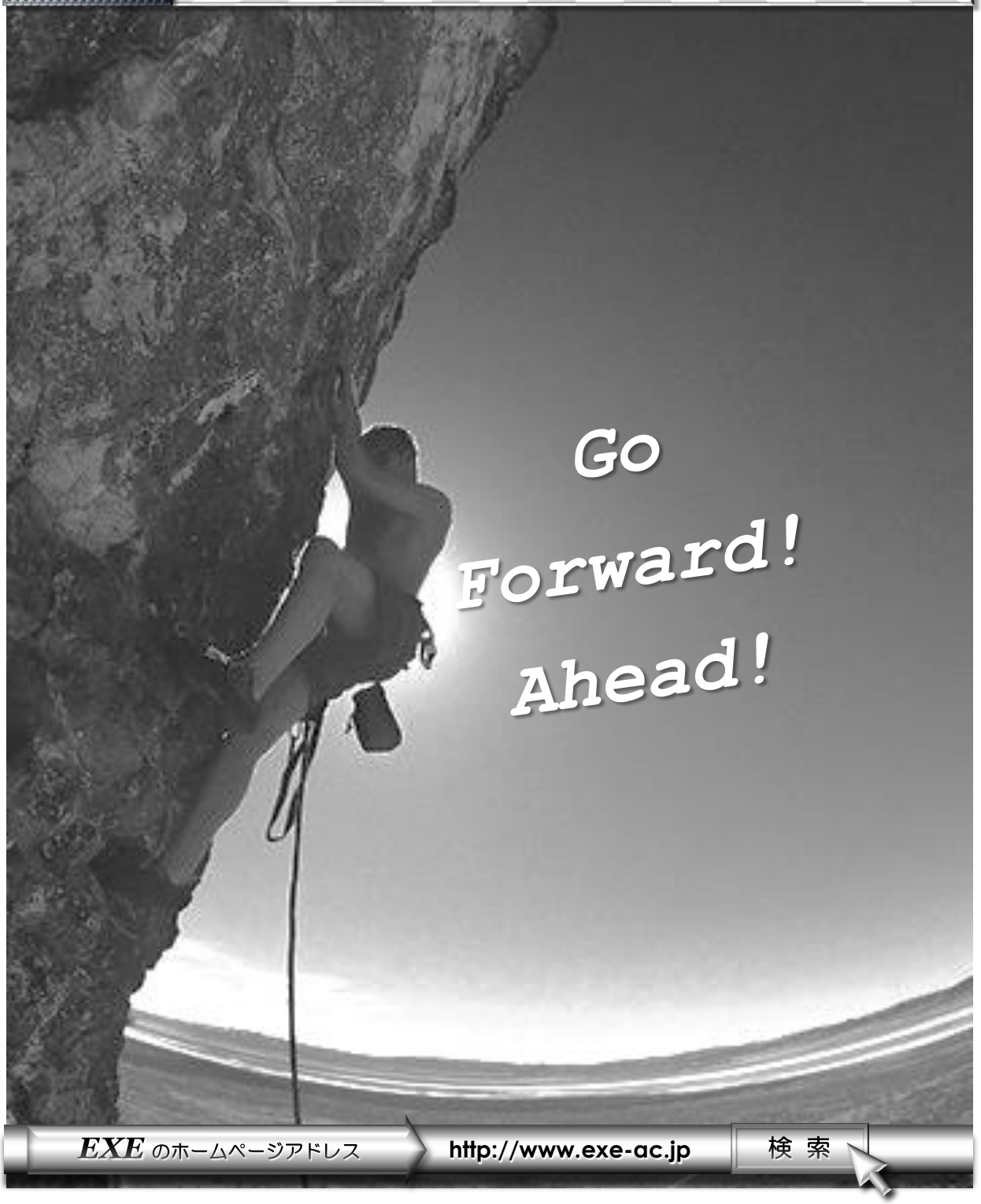
X
EX ECUTE
EX PLORE
E FFECT
EX CELLENT
EX PERT

2016 – FEBRUARY – 2月号

EXE TIMES



EXE のホームページアドレス http://www.exe-ac.jp 検 索

選択することの効果

『自ら選択して進んだ道と、他人に決められた道を進むとでは、それを達成するのに払う努力の量が相当違ってくる。当然、自ら選んだ道に進む方が努力量は大きく、達成感も殊更とのこと。更に、自ら選択した道も、困難な道を選んだ場合と楽な道を選んだ場合とでは、困難な道を選択した方が努力し、結果（マイナスの結果も含め）に対する幸福度・満足度も高くなる。』

勉強についてヤル気が湧いてくるのを待っている場合がありますが、一向に埒はあきません。お子さんを行動に仕向けるには選択させることです。その際、自由に選ばせるのではなく選択肢を与えてあげることが肝要です。自由に選ぶと選択肢が多すぎて選べなくなり、結局選ばないのと同じことになり、現状は何も変化しません。選択肢を与えることの利点は、第一に選ぶ側にとっては決断し易くなるということです。さらに、保護者様の思惑の絡んだ選択肢を与えることは、保護者様の考え方を間接的に伝えることになります。一方的に叱りつけ捩じり伏せるよりも、お子さんも『選択する』という意志表示ができるわけですから効果的です。ですから、選択肢を与えることはある種の『対話』だとも言えるのです。

残念ながら、本人のヤル気に任せるというのは、ヤル気がなければやらなくていいという「お墨付き」を与えたことになります。ですから、事態は悪化することはあっても、余程のことがない限りはよくなることもありません。むしろ刹那的になる傾向があるようです。

お子さんのこれからの長い人生はまさに選択と決断の連続です。選択すること・決断することは、少なからず訓練を必要とすることのようで、大人になって選択・決断することに慣れてない人は、選択を誤ったり決断が鈍くなったりすることが多いようです。

＜ 塾、一考 ＞

日本の町工場の技術力の高さは以前から定評がありましたが、テレビドラマなどでも紹介され、やっと一般にも定着してきた感があります。じゃあ、すべての町工場は技術力が高いのか。答えが否であることは明白です。大企業でも小回りが利き高い技術力を誇る会社もあれば、町工場でも全く融通の利かない会社もあるはずです。これは決して製造業に限った話ではないことかと思います。

いつの間にやら世間にある「塾」と呼ばれるものはここ 10 年で「個別指導塾」が多勢を占めるようになりました。個別指導塾は確かに「個別に勉強」をしていますが、果たして「個別に指導」がなされているのかは疑問です。塾の経営的なことから言わせてもらえば、個別指導塾は学生のアルバイトで十分ですので、人材確保・技術力の養成には時間・労力・お金がかかりません。その内実は玉石混淆で、全国的にも価格競争に入っており全国累計の収益も既に天井を打っています。一方、一斉授業では集団を指導していかなければなりませんので、人材確保は難しく、また育成と考えてもそうした講師は一朝一夕には育ちません。塾講師から見ても指導力のある講師はなかなかいないのが現状です。

指導的観点からは、個々を見る力があれば 20 人も 30 人も変わらないというのは、最近の研究で明らかになっています。個別指導の盲点は「少人数だから個別に指導してもらえている」という勘違いです。教える側からすれば少人数で個別指導でもただシステムやルーティンに乗っかってやっているだけの場合が大いにありうる、ということです。さらに、総じて勉強が苦手な生徒さんが個別指導を選ぶことが多いですので、ある一定のレベルまでは対応できても、それ以上は想定されていなことも多々あります。

EXE は世間の趨勢に逆らおうと思ってのことではありませんが、一貫して「集団一斉授業」塾です。一斉授業というと、一方的に講釈を垂れて…というイメージがあるでしょうが、こちらも様々です。単純に授業だけで終わる場合もありますし、大量の宿題を課しその答え合わせに始終する場合もあります。個々の生徒をちゃんと見て指導している場合もあればそうでない場合もあります。

塾を考える場合、何を求めているかによって基準は違ってくるでしょうが、指標の一つとしてお考えいただければと存じます。

= 県立高等学校入学者選抜までの日程 =

県立高等学校入学者選抜 願書提出期間　2 月 9 日(火)～12 日(金)
［ 県立高等学校入学者選抜 志願先変更　2 月 19 日(金)～22 日(火) ］

県立高等学校入学者選抜 (学力試験)　3 月 3 日(木)
［ 県立高等学校入学者選抜 (特色選抜)　3 月 4 日(金) ］

県立高等学校入学者選抜 合格発表　3 月 11 日(金)

＜入試まで残り 1 ヶ月の勉強＞

まず知識中心の教科の徹底復習です。理科・社会は確実に点数を取りやすい教科です。特に、英数国のいずれかの教科に不安がある場合、理科・社会は実に有効です。教科書の図表・資料集・地図帳は活用次第で援軍となるでしょう。

英語は英数国の中では知識量がものを言う部分が大きい教科ですので単語練習を怠っていては足元を掬われます。教科書の内容は出題されやすいですので、会話表現・慣用表現についてももう一度チェックしておく必要があります。

さらに県立高校の入試問題には「論述」があります。予々申し上げてきたとおり「論述」の部分の採点基準は高校によって異なります。しかもその採点基準は公表されていませんので、その部分の点数は計算が難しいです。できることは、少しでも完璧な答えに近づけることです。「大体これくらいで…」と済ませてきた部分をもう一度確認することはできるはずです。

何よりも大事なことは、デキルところで間違えないことでしょう。数学の計算問題のミスなどは致命的です。デキルかどうか判らないところで時間を費やすよりは計算問題を確実に得点していく方がむしろより高い得点に結びつけられることもあります。

そして、日々の学習。英語の音読・単語練習、数学の計算練習、国語の意味調べは欠かさずに行うようにして下さい。
「継続は力なり」です。

一歩でも 前へ

中 3 生は私立高校入学試験の合格発表の結果がそろそろ出揃ってきたところです。結果は悲喜交々。それとともに各中学校でも三者面談が行われ、早々と県立高校入試の願書提出を迫られているようです。受験校決定は確かに大切なことですが、そればかりに気を取られて勉強が手につかないようでは本末転倒ですね。本筋を外れています。

残された時間はひと月余り。ここまでの努力を活かすも殺すもこれから。確かに、入試ひと月前だけ勉強しても学力は上がりません。しかし、ここまで受験に正面から向き合って努力してきた ***EXE*** 生にとっては、これから受験までのひと月は、今までの努力を形にしていく「大切な時間」なのです。今まで身につけてきた知識に漏れはないのか、曖昧に通り過ぎてきたところはないのか…など、入試に向けて調整していかなければなりません。ペンキ塗りにしても、彫刻にしても、どんなものにも「仕上げ」が必要です。「仕上げ」で手を抜くと上手く行くものも上手く行かなくなるのです。

ここからの残されたひと月余り。もう時間がないといってもその長さは約 1 ヶ月と夏期講習で過ごした時間に匹敵します。入試はまだ終わっていません。だから、勉強もまだ終わりじゃないはずです。デキることを一つでも増やすこと。今日の勉強はもう終わり、と思ったその瞬間にもう一つやってみる気持ちになってみるのです。成功への扉はそこから開いていくのです。

例年、県立高校入試本番間近となりますと、第一志望校なだけに生徒さんの緊張も殊更です。その直前の大事な時期を独りで過ごすとなると、どうしても「他の生徒さんはどうしているのだろうか…果たして合格できるのだろうか…」など疑心暗鬼になり、不安に駆られるものです。

内容的にも、直前にやったことはやはり一番記憶に残るものです。直前のこの時期、落ち着いて最後の確認をし、万全の態勢で入試に臨んでいただくために直前講習を設けております。

※ 学習や進路についての相談等がございましたら、
随時お受けいたします。いつでもお気軽にご連絡ください。

県立高校入試対策

≪直前講習≫

2 月 27 日(土)
2 月 28 日(日)
2 月 29 日(月)［壮行会］

後日、各校舎より申込書を配布いたします。
詳しくはそちらをご覧下さい。

中2生 授業曜日変更のお知らせ

中２生は３月７日(月)から
「月・水・金」に、授業日が変更になります！

中２生は、この３月で県立高校入試まで１年を切ります。
早い段階から受験を意識した学習に移行してもらうため授業曜日が月・水・金曜日になり、中３の受験態勢へと移行いたします。

◆英・数・国（月・水・金曜日）
◆理・社　　（土曜日）※受講者のみ

※ ３月の授業料は２年生の料金のままです。

３月７日以降、２年時の総復習に入り、学習内容も新学年に備えます。それに伴い**友人紹介（友情割引）**を実施します。やる気のある生徒さんが多ければ、そのやる気は教室全体に浸透していきます。そしてその行動が「標準化」されていきます。ですから、友人紹介はその学習の環境づくりの一つであると考えて実施しております。

何卒ご理解・ご協力の程、宜しくお願いします。

友情割引
トモワリ

※中１生は従来通り。火・木曜日（英・数・国）／土曜日（理・社）

小５・６／中１・２・３生 ≪月例テスト≫実施のご案内

＜中学生＞ － 茨城統一テスト －
１月31日(日)
※中３生は最終の茨城統一テストです。
※2月２日(火)はテスト処理日のため休講となります。

＜小学生＞ － 育伸テスト －
２月15日(月)・16日(火)／国・算
13日(土)／理・社

※各校舎より詳しい案内を配布しております。

小６生 ≪保護者面談≫のお知らせ

２月18日(木) ～ ２月26日(金)

小６生を対象に保護者面談を実施いたします。中学入学に際し、中学における現状・今後の学習などについてお話する機会を持ちたいと思います。お忙しいとは存じますが、是非ともご参加くださいますよう宜しくお願いいたします。

※ 後日、申込用紙を配布いたします。詳細はそちらをご覧下さい。

February ２月以降 予定&休講日

1/31日(日)	月例テスト
2/2日(火)	休講日/テスト処理日
7日(日)	休講日
11日(木)	休講日/建国記念日
14日(日)	休講日
21日(日)	休講日
27~29日	直前講習
3/3日(木)	県立高校入学検査
3/11日(金)	県立高校 合格者の発表

＊編集後記＊　先日、ある人と話をしている中で「最近の学校の中には『タテ社会』がなくなった」という話題になった。上級生を『～先輩』と呼ぶことは少なくなり、『～君』『～さん』と呼ぶ。まるでどこかの芸能事務所だ。

しかし、基本的には社会に出れば依然として『タテ社会』である。学生時代『ヨコ社会』ばかりでは、社会に出て馴染めるはずもない。20代の離職率、就業率を見ると頷けてしまう。

編集 臥居猫